

## 復元ポイントの作成とシステムの復元

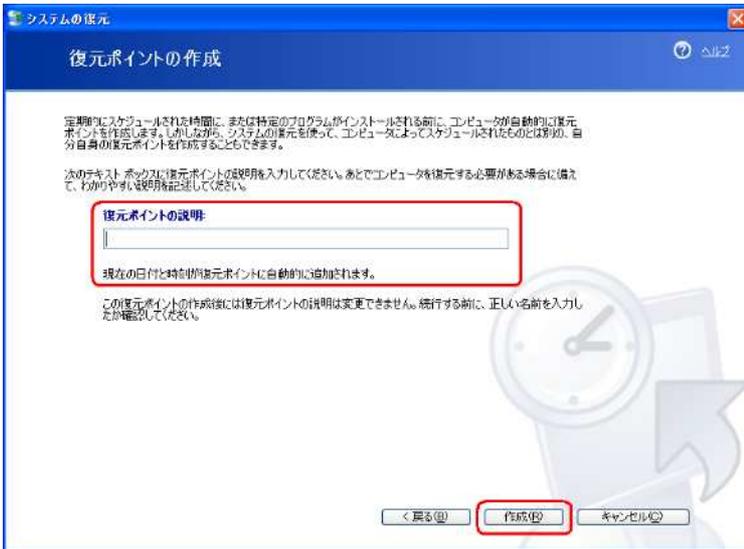
別稿でも説明したとおり、OSやアプリケーションのアップグレード、あるいは新しいソフトウェアのインストールをする場合には、最悪の場合に備えて「復元ポイント」を作成しておくことを強くお勧めします（ここで言う「最悪の場合」とは、アンインストールしても障害が解消しない場合の事です）。復元ポイントとは、そのポイントまでパソコンの設定を戻すことのできる基準点のことです。OSやアプリケーションをアップグレードしたり、新しいソフトウェアをインストールしたりした結果、障害が発生してしまった場合でも、復元ポイントまでシステムを復元すれば障害を解消することができます。復元ポイントには自動的に設定されるものもありますが、OSやアプリケーションのアップグレード、新しいソフトウェアのインストールなど、それ自体、危険を伴う行為をする場合には、アップグレード等を実行する前に、手動で復元ポイントを設定しておきます。

### 復元ポイントの作成

復元ポイントを設定するには、「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「アクセサリ」→「システム ツール」→「システムの復元」→の順にマウスでクリックします。



すると、左の画面が現れます。復元ポイントを作成するには、「復元ポイントの作成(E)」の○をマウスでチェックし、**次へ(N) >** ボタンをクリックします。



手動で復元ポイントを作成する場合、「復元ポイントの説明：」の窓に復元ポイントの内容を説明する文章を入力し（例えば、「Explorer 7へのUpgrade」など）、**作成(R)** ボタンをクリックします（自動的に作成された復元ポイントには、このような説明はつきません）。文章は、当然ながら、自分がわかるものであれば内容は自由です。これで、復元ポイントの作成が開始します。



復元ポイントの作成が終わると、左の画面が表示されます（日付と時間は自動的に入力されます）。これで、障害が発生しても、ここで表示されたポイントまでは戻ることができますから、安心して作業ができます。

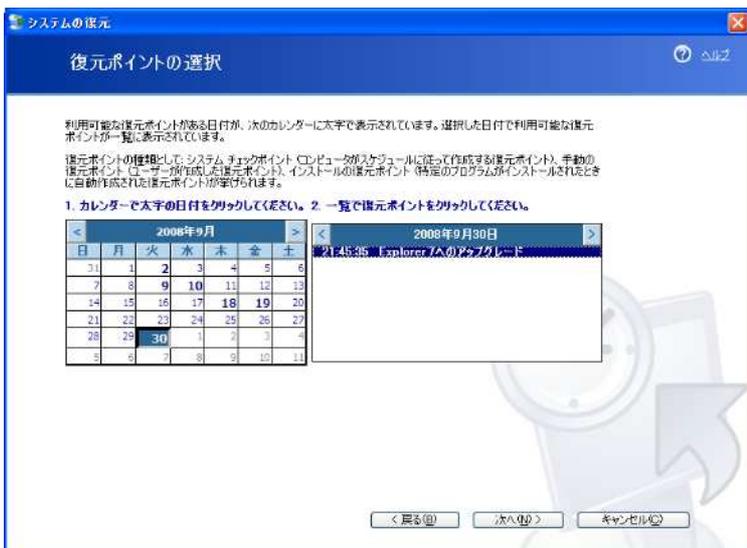
**閉じる(C)** ボタンをクリックして画面を閉じてください

## システムの復元

不幸にして障害が発生し、復元ポイントまで戻りたいときは、次の手順を行います。  
本稿 1 ページの手順で「システムの復元」ツールを呼び出します。

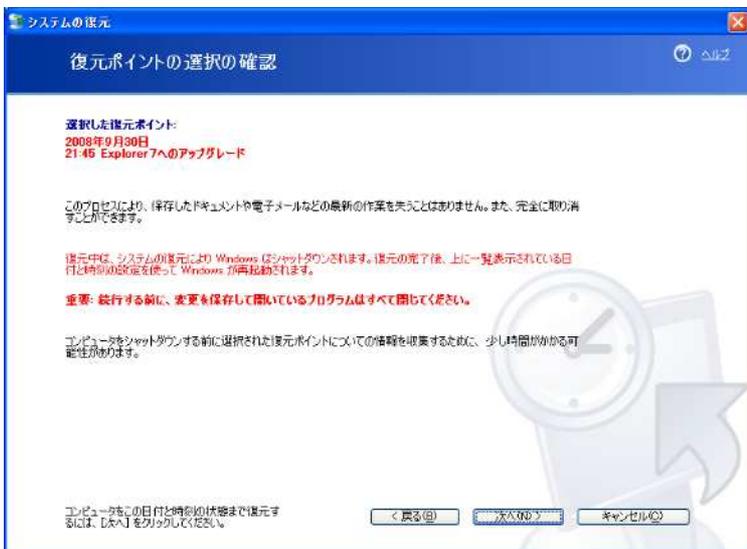


今度は、復元したいわけですから、「コンピューターを以前の状態に復元する(R)」の○をマウスでチェックして「次へ(N) >」ボタンをクリックします。

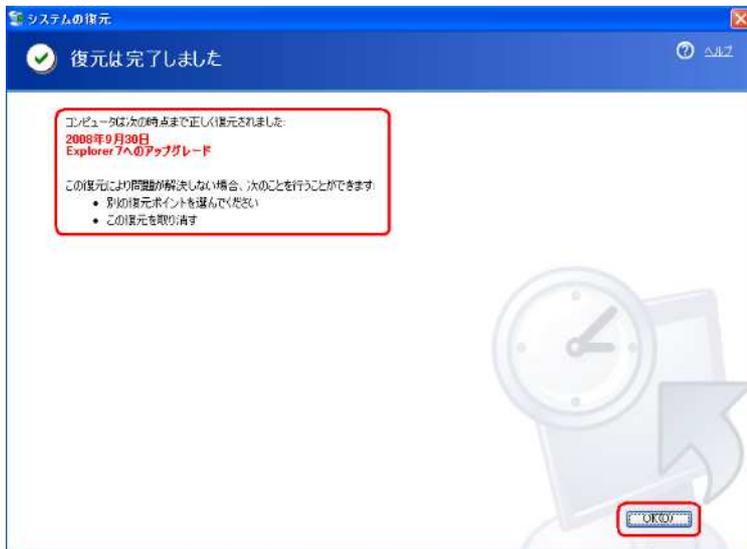


すると、復元ポイントの選択を求められます。一番最近に設定された復元ポイントが選択されていますが、他のポイント（カレンダー上、太字で表示されている日に作成されたもの）を選択することもできます。

適当なポイントをマウスで選択して「次へ(N) >」ボタンをクリックします。



選択した復元ポイントの確認を求められます。「次へ(N) >」ボタンをクリックすると復元が始まります。なお、復元作業が始まってしまったら途中でやめることはできません（復元を撤回したいときは、一旦、復元を終えてから「復元の取り消し」を行ないます）。また、開いているプログラムはすべて閉じておかなければなりません（開いているものは強制的に閉じられます）。復元作業の途中でシステムが再起動されます。

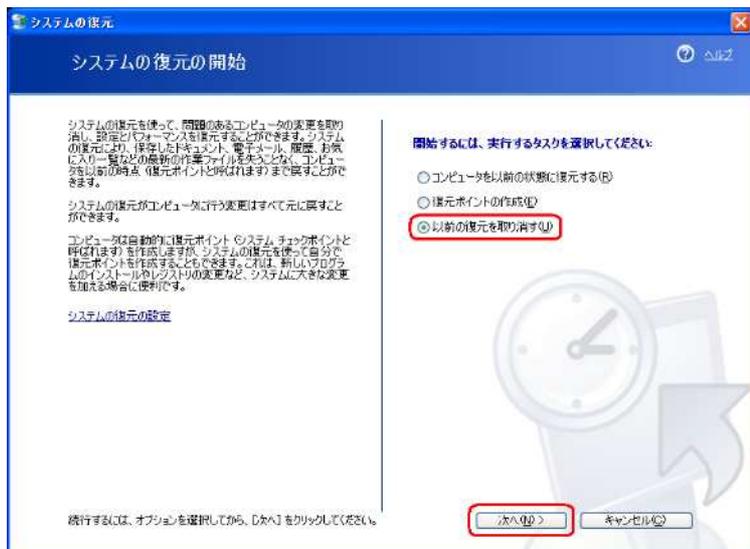


復元に成功すると、再起動途中で左の画面が表示されます。**OK(O)** ボタンをクリックすると復元後のシステムが起動します。

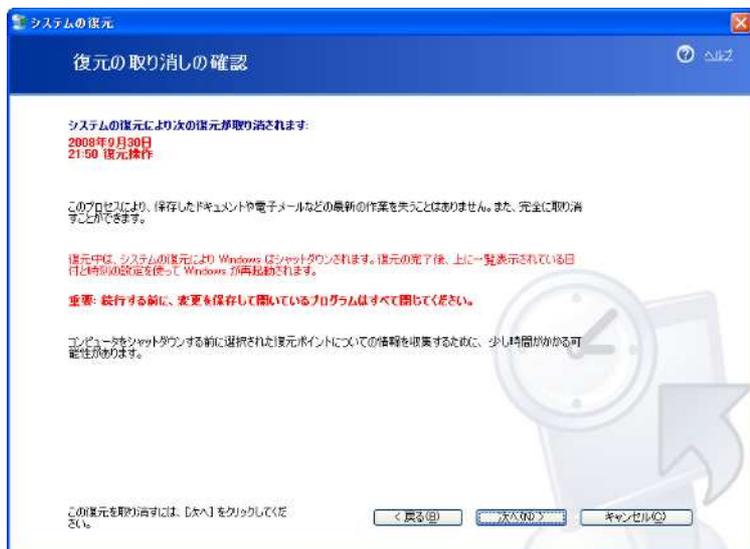
なお、復元とは、「システムの復元」のことですから、システムとは関係のない内容、例えば変更から復元までの間に作成し、保存された文書ファイルや、送受信したメールなどはそのまま保存されていますので、心配は要りません。これは、復元を取り消す場合も同様です。

## 復元の取り直し

復元を取り直したい場合も、「システムの復元」ツールを呼び出します。



復元が可能な場合、左のように「以前の復元を取り消す(U)」という選択肢が表示されますから、この○をチェックして **次へ(N) >** ボタンをクリックします。



復元取り消しの確認を求められます。**次へ(N) >** ボタンをクリックすると復元の取り消しが開始します。



取り消しに成功すると完了通知が来ます。**OK(O)** ボタンをクリックすると取り消し後のシステムが起動します。